2026.11.10
第13回 副首都・大阪にふさわしい大都市制度協議会

資料4

特別区設置コストについて

（システム経費に関する下限値の追記）

副首都・大阪にふさわしい大都市制度協議会

事務局：副首都推進局

コストの試算（総括表）

■　システム改修経費に係る人件費・物件費の上昇率の下限値を用いた場合の試算額を下線部のとおり追記

イニシャルコスト	ランニングコスト
624(578)	80

（単位：億円）
※端数処理のため、合計が一致しない場合がある
※1億円未満のものは小数第一位まで表示
※システム改修経費は、事業者ヒアリングによる人件費・物件費の上昇率に幅があるため、上限値を用いて試算。（　）内は、下限値を用いた場合の額。

項目		総額	特別区全体	大阪府
イニシャルコスト	システム改修経費	561(515)	494(454)	67(61)
	庁舎改修経費	48	38	10
	改修経費	46	38	8
	民間ビル賃借保証金	2	—	2
	移転経費	5	4	0.4
	その他経費	11	11	—
	合　計	624(578)	548(507)	77(71)
ランニングコスト	システム運用経費【増加分】	82	58	24
	（参考）システム予算額を含めた運用経費全体	511	397	114
	民間ビル賃借料	▲2	▲7	4
	その他経費	0.4	0.4	—
	合　計	80	51	29